

講演内容



「自己肯定感をつくりあげる 親子の信頼関係づくり」

木村まさ子 氏
(株) ようとう代表
いこいスペース∞こあ
まるちゃん家 アドバイザー

このは語り。心と体にやさしい料理を提供するレストラン経営の体験からいのちをいただくことを意識して食べることが、いかに大切に伝えている。2人の息子の子育て体験から、母親が心に届く言葉(ことば)を子どもに語りかけることがいかに大切に伝えている。医師の日野原重明先生の「100歳のちの授業」にも協力。講演及びセミナーで全国を回っている。最近では、朗読会にも力を入れている。



基調講演

「子ども達を真ん中にした 地域交流の拠り所を目指して」

湯浅 誠氏

社会活動家
東京大学先端科学技術研究センター特任教授
全国子ども食堂支援センターむすび理事長

東京大学大学院法政学政治学
研究科博士課程単位取得退学。
1990年代よりホームレス支援に
従事し、2009年から足掛け3年
間内閣府参与に就任。内閣官房
社会的包摂推進室、震災ボランティア
連携室長など。政策決定の現場に
携わったことで、官民協働が、日本
社会を前に進めるために重要と痛
感する。2014～2019年まで法政
大学教授。



パネルディスカッション・トークディスカッション



実践報告①

「行政ができるサポートは」

長迫 和宏氏

北九州子ども食堂係長
年齢:昭和47年生まれ46歳/入職:1997年。在年4年目。子ども食堂担当係長として、主に子ども食堂ネットワーク北九州の事務局や子ども食堂の開設・運営に関する相談対応、関係団体との調整などを担当。

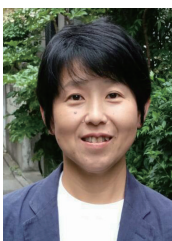


実践報告②

「SSWの現場から見えてくるもの 教育と福祉の連携の必要性」

梶谷 優子氏

福岡市スクールソーシャルワーカー
保育園、障害児、障害者の入所施設勤務の後、平成20年から現職。
社会福祉士、保育士、幼稚園教諭、介護支援専門員の資格を有する。



実践報告③

「子どもへの支援が 地域のインフラとして根付くには」

栗林 知絵子氏

NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 理事長
民生委員児童委員。東京都豊島区在住。2004年より池袋本町プレーパークの運営に携わり地域活動を始める。地域の子どもの地域で見守り育てるために、プレーパーク、無料学習支援、子ども食堂など子どもの居場所を点在化して、子どもと家庭を伴走的に支援している。

2019年

7月14日 13:00~17:00

開場 12:15~ アトラクション 12:30~

場所 天草市民センター 大ホール

熊本県天草市東町3 ☎0969-22-4125



●サミットへの参加・託児などのお問合わせ・お申込み先
いこいスペース∞こあ まるちゃん家
☎070-7532-1098
✉marumaru@amakusan.jp
◀QRコードからもお申込みできます

- 主催: いこいスペース∞こあ まるちゃん家
- 共催: 社会福祉法人 北斗会 / 子ども支援活動ボランティアグループ ゆめの絆∞わらびかみ(童神)
- 後援: 天草市 / 天草市教育委員会 / 天草経済開発同友会 Ama-biZ / 天草PTA連絡協議会 / 天草PTA連合会 イオン天草店 / グリーンコープ生協くまもと
- 協力: 男女共同参画推進団体「つんでネット~風~」 一般社団法人市民活動サポートあまみん



あま 子どもとも未来 サミット

入場
無料

事前申し込みが
必要です

内閣府 子供の未来応援基金 第3回未来応援ネットワーク 事業助成金事業

誰もとりこぼさない!

子どもへの支援は地域の未来につながる。

天草市の子どもの未来に
対して、私たち一人ひとりが
「それぞれの立場でできる
ことがある」ということに
気づき、知つてもらうことを
目的としたサミットです。

活環境に影響が出てきて
いる現実があります。その
ためにも「子どもを真ん中
にした地域交流の場」が天
草に必要なのです。
サミットでは、そういつ
た子どもたちの支援を
行っている専門家をお呼
びし、他地域での行政・民

間の協働体制や教育・福
祉の連携事例を紹介して
いただきます。
天草ならではの支援の輪
が広がり、子どもたちへの
「結びつき、支え合う地域つ
くり、新しい支え合いのか
たち」のきっかけづくりに
なることを願っています。